

HEADLINE

「大好きなモンゴル展 特別イベント『もっとモンゴルが好きになる日曜日』」が開催されました！（2/12）

★財団法人兵庫県勤労福祉協会 兵庫県中央労働センター主催

「大好きなモンゴル展 特別イベント『もっとモンゴルが好きになる日曜日』」が開催されました！



▲満員となった会場

2月12日（日）13時より、財団法人兵庫県勤労福祉協会 兵庫県中央労働センターにおいて、同センターが主催する「大好きなモンゴル展 特別イベント『もっとモンゴルが好きになる日曜日』」が開催されました。

当日は休日にも関わらず、神戸新聞（神戸版・淡路版）に掲載され、また、NHK神戸にも放送されたイベント告知やチラシ・ポスター等を見て駆けつけていただいた、多くの一般市民の方々が参加され、座席に座れず立ち見となった方も含め、延べ約500名が会場を埋め尽くしました。

プログラムは三部で構成され、当ユニオンの若手有志とモンゴルからの留学生、NPO団体の職員による実行委員が、イベントスタッフとして会場の設営から運営全般まで中心となって携わりました。

まずは第一部ムフ&エグシグレンの演奏による「草原のひびきコンサート PART1」で幕が上がり、会場がモンゴルの雰囲気になりました。

続いて第二部では講演を中心とした「モンゴル交流フォーラム」が行われ、まずは主催者として財団法人兵庫県勤労福祉協会理事長 久保敏彦様、来賓として兵庫県産業労働部政策労働局長 岩根正様、後援団体代表として兵庫県参与・財団法人ひょうご環境創造協会顧問 小林悦夫様よりそれぞれあいさつがありました。その後、活動報告「マルチン村との交流から生まれたもの」と題して、川端事務局長より当ユニオンの12年間にわたるモンゴルとの交流活動に対する報告が行われました。



▲展示を観覧する来場者の方々



▲講演するS. デムベル博士

第二部の締めくくりとして、この度の特別イベントにモンゴルから駆け付けてくれたS. デムベル博士より、「海を越える交流、そして人々の絆」と題した講演が流ちょうな日本語で行われました。デムベル博士からは、当ユニオンの図書贈呈活動に対し「遠く離れた日本の神戸市にある神鋼環境ソリューション労働組合から、代表の方々が3度にわたり訪問し、物品の贈呈だけでなく、バレーボール等の友好試合などが行われてきました。このようなスポーツや文化交流が、日本とモンゴルの双方の人材育成にもつながるものと信じており、今日では、多くの住民が、訪問団の来訪を心待ちにしているところです。」と感謝の意が述べられました。また、講演の最後には、今後の図書贈呈活動について、

「本は世界を視る窓であり、人間の能力を向上させるための計り知れない価値を秘めています。この交流を、息の長い実のあるものとして絶対に成功させたいと思っています。モンゴル・日本両国民の相互理解が更に深まり、交流と協力が一層繁栄することを祈ってやみません。」との強いメッセージが述べられました。



▲草原の歌姫 春蘭さん

第三部では、「草原のひびきコンサート PART2」が行われ、特別ゲストの草原の歌姫 春蘭さん(内モンゴル出身の馬頭琴奏者)による、馬頭琴が奏でられ、会場全体がモンゴルの風に包まれたような不思議で幻想的な雰囲気に入れられ、盛会のうちに全てのイベントが終了しました。

参加したみなさんからは「国を超えた人と人とのつながりを大切にする活動はとてすばらしく、感激しました。これからも末永く交流を続けていってもらえることを期待します。」という感想がありました。

また、実行委員からは「こんなにも大勢のみなさんが参加したイベントに実行委員の一員として参加でき、大変楽しかったです。ありがとうございました！」という感想がありました。



実行委員のみなさん ※順不同

山本雅也さん、森田友里さん、三阪典之さん、上村大輔さん、藤井建史さん、薫伸浩さん、小串雅子さん、獅子谷文江さん、田中克さん、有村恒さん、品川和明さん、澤田浩介さん、安河内健さん、バレー部のみなさん、野球部のみなさん、サイハナさん(モンゴルの留学生)、フフデリケルさん(後援NPO団体職員)、松原義昭さん、井上育也さん、山口浩之さん、黒岡達男さん、坂本憲太郎さん、永野竜規さん、神地泰宏さん、石田健司さん、吉本真由美さん

-----END-----